

一般質問発言通告書

発言順位 14番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年11月28日

三島市議会議長 藤江康儀様

三島市議会議員 8番 石井真人

質問事項1	デジタル技術を活用した観光地への交通政策について
具体的内容	
伊豆ファン倶楽部のキックオフイベントを終え、観光活性化において新たなデジタル技術の活用に市民の期待も高まっている。一方、コロナ後の観光需要が増加する中において、交通事業者においては、運転手不足や燃料費の上昇などの課題もあり、観光地（三島スカイウォーク）に向かう路線バスにおいて、地元住民へのサービス低下が課題となっている。	
増え続ける観光需要への対応や持続可能な公共交通の運営に向け以下の質問を行う。	
1 路線バス増発に対する市のサポートについて	
2 デマンド型タクシー等の代替手段の導入で解消することは可能か。	
3 伊豆ファン倶楽部における主課題の一つに据え、新たなデジタル技術を活用した交通対策を考えてはどうか。	
質問事項2	障がい者にやさしい街づくりに向けて
具体的内容	
障がいのある方が、地域で安心して生活を続けられるよう地域全体で支えるために、市では各種サービスの提供体制を構築しているが、その実態について以下に伺う。	
1 本年度から指定管理制度を導入した佐野あゆみの里について、事務移行した障がい者支援センター事業（災害ネットワーク事業や安否確認システム等）の現状	
2 地域生活支援拠点等事業「みしまるネット」の運用状況	
3 風水害時の指定緊急避難の対応（市営藤代住宅における車いす利用者への対応、加茂地区による山田中への避難路、西地区の指定避難場所）	
4 三島駅南口周辺整備の状況（ユニバーサルトイレ及び乗降時の車いす利用者への対応）	
5 障がい者日常生活用具（イヤーマフ）の市の助成に関する要望後の検討状況	
質問事項3	市民に開かれた自治体運営と対話型行政の推進
具体的内容	
市は行政情報を透明かつわかりやすく提供し、市民との双方向のコミュニケーションの可視化を行うことで、信頼関係を構築し市民参加を促すことに繋がる。	
今後、より一層複雑化する行政課題に対し、行政と市民との協働の街づくりを推進するためにも、市民に開かれた自治体運営が必須であると考え、以下に伺う。	
1 新庁舎建設の候補地選定の際、市の内部において「候補地決定を延期」とするまでの意思決定プロセスの透明化	
2 「みなさんのご意見箱」や「各種要望事項」に対する行政の取り組み状況の可視化	
3 「My City Report」（全国33自治体）などの次世代型市民協働プラットフォームの導入	